

循環器内科研修プログラム

□ 一般目標(GIO)

将来様々な領域において活躍する研修医が、社会が期待する医師に成長できるようにするために、病状の急な悪化に至る可能性の高い循環器内科疾患患者の診療を通してプライマリケアの基礎を学び、臨床現場において循環器救急患者診療担当者の一員としてチーム医療を実践し、循環器疾病の予防と治療にかかわる標準的能力を習得することを目標とする。

□ 行動目標(SBO)

1) 全般的項目

- * チーム医療の一員として行動することができる。
- * バイタルサインから患者の安定不安定（危険性）を推察することができる。
- * 症状から患者病態を推察（鑑別）することができる。
- * 医療面接に同席し内容を後述することができる。

2) 身体診察と一般検査

- * 成人の正常心音を聴取できる。
- * 異常心雑音を聞き取れる。
- * 成人の正常呼吸を聴取できる。
- * 肺うっ血時の湿性ラ音を聞き取れる。
- * 12誘導心電図が記録できる。
- * 正常心電図所見を述べることができる。
- * 運動負荷心電図の意義を述べることができる。
- * ホルター心電図検査の意義を述べることができる。
- * 胸部X線所見で心肺陰影の異常を指摘できる。
- * 心エコーを実施し心臓（長軸像、心尖部四腔像）を描出できる。
- * 循環器領域でのCT、MRI、核医学検査の検査の意義を述べることができる。

3) 心臓カテーテル検査とカテーテル治療

- * 冠動脈の解剖をAHA分類に従って述べることができる。
- * 狭窄した冠動脈部を指摘できる。
- * 心臓カテーテル検査の危険性を述べることができる。
- * 経皮的冠動脈形成術（PCI）の種類を述べることができる。
- * ペースメーカー治療の適応を述べることができる。
- * カテーテルアブレーションの適応を述べることができる。

4) 心肺蘇生

- * 一次心肺蘇生術法（BLS）を実施できる。
- * AEDの意義について述べることができる。
- * 直流通電（ショック）の実施に際しての注意点を述べることができる。
- * 指導のもとショックを実施できる。

5) 疾患別治療

- * 急性冠閉塞症候群への対応を述べることができる。
- * 急性心不全の治療方法を述べることができる。
- * 心房細動治療について述べることができる。
- * 頻（拍）脈、徐脈（拍）への対応を述べることができる。
- * 高血圧の診断基準を述べることができる。
- * 高脂血症の診断基準を述べることができる。

□ 方略（LS）

- * 2ヶ月間を通して指導医、主任部長、看護師、薬剤師、臨床工学士など多職種の協力で実施する。
- * 病棟で行うもの
OJT；医療面接 抄読会 電子カルテ研修 栄養指導 服薬指導
コミュニケーション（患者医師関係など）能力
- * 外来（救急外来を含む）で行うもの
OJT；医療面接 電子カルテ研修 栄養指導 聴診能力育成
- * 心臓カテーテル検査室で行うもの
OJT；心臓カテーテル検査
- * 会議室・講堂で行うもの
講義 実習（BLS / ACLS 実習 シミュレーター研修 ロールプレイ）
- * カンファランス室で行うもの
症例検討会 症例報告 栄養指導 服薬指導
- * 研究会などで行うもの
症例検討 ケーススタディー
- * その他
読書 インターネット学習 ビデオ学習

□ 評価（EV）

指導医、もしくは責任指導医は、研修医の一般及び行動目標における知識・技能・態度の研修到達レベルを、研修中、あるいは研修終了時点において評価する。

循環器研修修了時点では以下の内容の到達を確認する。

- ① 担当患者1例において肝動脈造影所見をプレゼンテーションする
プレゼンテーション能力（話し方）を評価する
肝動脈造影所見の発表内容（知識、専門用語の使い方等）を評価する
- ② トレッドミル検査症例を2例報告（レポート）する